

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月 22日

事業所名 ウキウキさくらんぼ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・各フロアが広く子ども達がのびのびと活動できている。また静活動と動活動をスペースを分離する工夫をしている。 ・別フロアに運動に適した活動スペースを設けゆったりしたスペースを確保している。	
	2	職員の配置数は適切である	○		・配置すべき常勤職員に加え非常勤として専門性の高いPT、OT、さらに保育士、児童指導員を多数配置しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・小さな段差にもスロープを付け、また階の移動はエレベーターを使用しています。また、危険箇所(触ってはいけない所)はロックをした上で視覚で伝えるサインも設置しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・各プログラムが適切に行われるよう広い空間を確保しています。また、通常の洗面スペースに加えシャワーブースも設置しています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・毎日欠かさず朝礼を行い業務改善に対する振り返りや対策を話し合っています。 ・適宜、全体会議を開催し具体的な改善策の実施を検討しています。 ・改善策についてはPT、OT、STとも連携を行っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・コロナ禍により行えていなかった保護者会へのニーズが増えてきたので今春に開催する予定するなど、保護様の意向を把握し行動するよう心掛けています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		・行政書士事務所のコンサルティングを受け、常に公正な業務の遂行に努めています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・処遇改善制度を利用した外部研修(強度行動障害、SST、ビジョンなど)を積極的に受講し、その知識を社内研修で共有しています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・保護者様との面談を定期的に行うと共に相談支援員さんとの連携を密にしながらより多くの課題を見つけることに努めています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・全体朝礼や全体会議に加えて各チームでも多頻度でミーティングを行い立案しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・固定化しないプログラムを行うため、外部講師の招へいや外部研修に積極的に参加し、多様なプログラムが行えるよう研鑽しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		・利用時間の差異から不公平感が発生しないよう常に留意しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・全体朝礼の後、各チームにて確認しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・職員の公休日等の観点から、業務終了後と翌日の全体朝礼に加えてグループラインでも共有しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・些細なことでも記録しファイリングすることを徹底しています。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				
	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・相談支援員さんとの連携を密にしています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		・現在、該当なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		・現在、該当なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		・現在、積極的に行えていません。保護者様の意見を伺いながら地域交流の機会を設けていきたいと考えています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・毎回出席し地域の情報や複数事業所利用の利用者様の情報を得ています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・送迎時に共通理解を図るとともに連絡帳、LINEを活用しています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時にしっかりと説明の時間をとるよう心掛けています。		
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○				
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・定期的な面談に加え、状況に対応し送迎時や電話、LINEで対応しています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		・コロナ禍とニーズを鑑み行えていなかったが今春講演を交えた保護者会を行う予定です。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・相談内容等を鑑み、その状況に応じて面談、電話、LINE対応しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・行事予定(月1回)の配布に加え、ホームページ、LINEを積極的に活用しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・法令に従い鍵付きのロッカー等で管理しています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・絵カードなどを用いて適宜対応しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		・4月以降に実施するべく検討中です。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			・BCPに沿った訓練を行ってまいります。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			・BCPに沿った訓練を行ってまいります。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・書類による提出を頂き確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・書類による提出を頂き確認した上で、各フロアに提出し注意喚起をしています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・月1回のミーティングを行い共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・研修を行ったうえでマニュアルは更衣室等に掲出し周知を図っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・同意書の契約を交わし周知しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。